

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.27 2023年9月22日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

議員団を中心に活動を進めよう

7月27日に青森沖館市民センターにおいて、県フォーラム議員団設立総会を開催した。

当日は4名の議員が出席し、次のことを確認した。(太田十和田市議は視察、久慈十和田市議・蛭名青森市議は集会等で欠席)

役員構成では団長に藤田青森市議が、副団長に山名八戸市議・事務局長に赤平弘前市議がついた。

また、議員団運営会費は青森・八戸・弘前は年間1万円、その他の市議は5千円、町村議員は3千円としました。

今後の活動については、年間3〜4回の学習交流会を開催し、小笠原県議にも参加を要請することにした。

第一回の学習交流会を10月14日に開催し「24年問題」について青森県交運労協から問題提起を受け物流について学習し、議会交流を行うことを確認し終わった。

(斎藤憲雄)

9月議会に臨む議員団

●青森市議会(藤田誠)

支所・情報コーナーの施設環境について/地域コミュニケーション活性化の取組について/公立病院の統合について/市長公約について

①職員がのびのびと能力を発揮できる環境づくりについて②地域包括ケアシステムの充実について

●青森市議会(蛭名和子)

循環型社会の形成に向けた取組について①プラスチック資源について②食品ロス削減について③災害廃棄物処理計画について/青森県と青森市による共同経営・統合新病院について/青森市民美術展示館について

●弘前市議会(赤平泰衛)

市職員の賃金改善について①一般行政職の賃金水準について②現業職員の賃金水準について③会計年度任用職員の賃金水準について/LINEを活用した「市道路損傷等通報システム」の試験導入について/他部局での自動応答システムの活用の展望について

●八戸市議会(山名文世)

根城地区土地区画整理事業について①地権者の訴えについて②建築基準について(隣地に対する家屋の建築基準法違反と指摘する要因について、建築基準法違反の放置理由について、建築基準法違反に関する是正勧告の期限と罰則について)③建築確認及び敷地境界からのなれについて/JR八戸線について(令和6年度重点事業

要望書について/当市における各種ハラスメント対策の現状及び現場の対応について

●十和田市議会(太田正幸)

▼街路樹の伐採について①伐採に至った経緯について②伐採後の利活用について③伐採した本数分植樹できないか

▼生涯学習講座の運用について①受講者数の推移について②オンライン配信できないか

▼市役所職員の人材確保について①職員の応募者数などの推移について②人材確保対策について

▼防犯対策について①刑法犯件数の推移について②防犯カメラを増設できないか

●十和田市議会(久慈年和)

▼小中学校の水泳実技指導について①水泳指導の意義は②各校のプール使用・活用の現状は

▼第4期教育振興基本計画について①小中学校の教員の充足率は②教員の働き方改革を推進するための教員業務支援員とは③教員業務支援員の増員の計画は

▼三本木霊園の利用状況について①2022年度の募集数と応募数は②2023年度の募集数と応募数は

▼合葬墓運営の指針について①初年度の公募目標数は②使用料金の設定は③生前予約の募集は

▼マイナンバーカードについて①2023年8月末現在のカード

取得者数は②カード総点検の中間報告の状況は

【各自自治体・議会のホームページから要旨を掲載しました】

※昨年8月に埋め込んだチタンプレートの手術と、パソコンが言うことを聞かなくなったため、8月号を見送り、9月号も遅れてしまいました。定期発行に努めたいと思います。

下北支部からは毎月ニュースが送られてきます。会員の皆さんから是非投稿をお願いします。

(佐藤)

今後の日程

- 9月30日(土) 10:00~
県フォーラム青森幹事会 沖館市民センター
- 10月14日(土) 16:30~
社民フォーラム議員団学習交流会 自治労県本部
議題「2024年物流問題について」
※小笠原大佑県議・杉浦弘樹むつ市議も出席
- 11月19日(日) 13:30~
逢坂誠二衆議院議員「講演学習会」
ローフク会館4F

原爆がもたらした悲惨さと若い世代から平和への願いを感じた



～被爆 78 周年原水禁世界大会 （広島大会）に参加して～

平和労組上十三下北事務局長
十和田市職労 坂上 孝司

広島駅に到着し強い日差しを浴びながら駅前の大きな川の橋を渡り、川沿いの整備された歩道を歩きホテルに向かいました。目に映る景色は、河川沿いの平地に、広島独自の都市景観を形成している緑豊かな美しい街並みでした。

ホテルに荷物を預けてから、集合場所である原爆ドームに向かいました。元安川の川辺に建つ原爆ドームが近づくにつれて人が多くなり、外国人観光客の多さに驚きました。

原爆ドームに到着すると、周りでは中高生が炎天下で核兵器廃絶をめざす街頭署名活動を頑張っていました。この署名は広島と沖縄の中高生が平和のために何ができるかを考え、2008年に始まり集めた署名は国連関係者に届けられているそうです。

署名をしてから原爆ドームを見ました。鉄柵の中に、ほぼ被爆した当時の姿のまま建ち続ける原爆ドームは、原爆のすさまじさを物語っており、物言わぬ力強い無言のメッセージを発しているように感じました。その後、被爆 78 周年原水爆禁止世界大会の開会総会の前に、平和記念公園から開会総会会場に向けた「折鶴平和行進」が行われました。

総会では6歳の時に被爆した桑本勝子さんの話を伺いました。「原子爆弾が投下された日は、警報が鳴り多くの人が避難していたが解除された。その後、B29 が原子爆弾を投下したときは警報が鳴らなかった。もし警報が鳴っていればたくさんの人たちが避難できたのに」と話していました。また、爆発の瞬間の温度は約 4000 度となり、原爆で大やけどをした人たちが水を求めて川に集まり、水を一口飲んで次々に亡くなったそうです。被爆者から直接証言を聞ける貴重な体験でした。

2日目の午前は分科会に参加しました。午後は広島平和記念資料館を見学しましたが、入口から長い列ができていて、館内也非常に混雑していました。展示物をじっくり見ることはできませんでしたが、数え切れない人々の命の重さを感じ、原爆による被害の様子や、遺品や資料を見てとても衝撃で言葉が出ませんでした。

3日目は広島市「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」（平和記念式典）に参列しました。1945年8月6日人類史上初の原子爆弾が広島に投下されました。大量破壊、大量殺りくが瞬時に、無差別に引き起こされた日です。

式典には過去最多の 111 カ国の代表ら合わせて約5万人が参列し、原爆投下時刻の午前8時15分に参列者全員で1分間の黙とうをささげました。この瞬間、式典に集まった大勢の空気が静まり返り、人の存在感が消えました。平和な世界を願い、戦没者に対して静かに手を合わせました。平和への思いを強く感じた式典でした。

広島の地で、被爆者からは原爆や戦争がもたらす悲惨さを学びました。若い世代の人からは平和への願いを強く感じ、たくさんの思いが次世代へ引き継がれている気がしました。

この多くの体験や自分が受けとったメッセージを持ち帰り、県内での取り組みに生かしていきたいです。最後に、広島で行われる平和記念式典では、こども代表が読み上げる「平和への誓い」という取り組みが行われています。地元の小学校6年生米廣朋留さん、勝岡英玲奈さんが述べた「平和への誓い」の文章の一部を紹介して終わりたいと思います。

「平和への誓い」

たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のまちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。…「なぜ、自分は生き残ったのか。」仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

…原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

…あれから 78 年が経ちました。今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。「生き残ってくれてありがとう。」命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

所 属 団 体	氏 名
青森県原水禁	今村 修
大間原発地主の会	芳賀 作
チエル支援ネット	山本 浩蔵
十和田市職労	坂上 孝司
八戸市職労	鶴飼 弘美
八戸市職労	天間 昭悦

原水禁広島大会・青森県参加者

